



2019年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年1月29日

上場会社名 栄研化学株式会社

上場取引所 東

コード番号 4549 URL <http://www.eiken.co.jp>

代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 和田 守史

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部広報課長 (氏名) 堀内 清彦

TEL 03-5846-3379

四半期報告書提出予定日 2019年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	27,067	2.0	4,278	22.1	4,340	21.7	3,231	27.4
2018年3月期第3四半期	26,536	5.1	3,504	3.6	3,568	3.0	2,536	2.5

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 3,131百万円 (18.4%) 2018年3月期第3四半期 2,645百万円 (6.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	87.79	87.04
2018年3月期第3四半期	69.24	68.42

(注) 当社は、2018年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第3四半期	46,091	34,729	74.8	935.16
2018年3月期	45,165	32,478	71.2	877.35

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 34,490百万円 2018年3月期 32,145百万円

(注) 当社は、2018年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		25.00		25.00	50.00
2019年3月期		13.00			
2019年3月期(予想)				14.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、2018年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2018年3月期の配当金については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,760	5.1	4,200	20.7	4,230	19.2	3,040	16.5	82.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年3月期3Q	43,541,438 株	2018年3月期	43,541,438 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2019年3月期3Q	6,659,503 株	2018年3月期	6,902,222 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2019年3月期3Q	36,805,018 株	2018年3月期3Q	36,637,393 株
------------	--------------	------------	--------------

(注)当社は、2018年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続きました。海外経済は、通商問題の動向や中国を始めアジア新興国の経済の先行きなど不透明な状況があるものの、全体として緩やかに回復しております。

臨床検査薬業界におきましては、医療費抑制策により厳しい経営環境が続き、各企業はより一層のコスト競争力と積極的な海外展開が求められる状況となっております。海外においては、先進国における医療費抑制のための効率化のニーズや予防医学の拡大、新興国における人口の増加と経済発展に伴う医療インフラの整備など、今後も継続的な成長が期待されています。

このような経営環境の下、当社グループは新経営構想“EIKEN ROAD MAP 2009”及び中期経営計画に基づき、国内での主力製品の売上拡大に努めるとともに、海外市場では便潜血検査、免疫血清学的検査、尿検査、遺伝子検査の4つを重点事業分野として、グループ全体でグローバル化を推進してまいりました。

これらの結果といたしまして、当第3四半期連結累計期間の売上高は、主力製品の便潜血検査用試薬を中心に海外向けの売上が増加し、270億67百万円（前年同期比2.0%増）となりました。

製品の種類別区分ごとの売上高では、微生物検査用試薬は、培地の売上が減少したものの薬剤感受性検査用試薬の売上が伸び、40億3百万円（同0.4%増）となりました。尿検査用試薬は国内売上が伸長し、22億8百万円（同4.6%増）となりました。免疫血清学的検査用試薬は、東ソー株式会社から導入・販売しているAIA関連試薬が減少したものの、便潜血検査用試薬は海外向けの売上が大きく伸びたほか国内販売も堅調に推移し、155億78百万円（同5.8%増）となりました。生化学的検査用試薬及び器具・食品環境関連培地は、それぞれ4億70百万円（同0.4%減）、16億70百万円（同1.0%減）となりました。その他（医療機器・遺伝子関連等）は、遺伝子検査（LAMP法）試薬の売上が増加しましたが、海外向け尿検査用装置等の売上が減少したことにより、31億35百万円（同11.7%減）となりました。

海外向け売上高につきましては、便潜血検査用試薬の売上が大きく伸び、42億8百万円（同9.6%増）となりました。

利益面では、販管費が増加したものの売上構成の変化により売上原価率が低減したことで、営業利益は42億78百万円（同22.1%増）、経常利益は43億40百万円（同21.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は32億31百万円（同27.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

前連結会計年度末に比べ総資産は9億25百万円増加、負債は13億25百万円減少、純資産は22億51百万円増加いたしました。

自己資本比率は前連結会計年度末の71.2%から74.8%となりました。増減の主なものとして、資産の部では、現金及び預金が6億58百万円減少し、受取手形及び売掛金が6億94百万円増加しておりますが、主に年末の金融機関休日に伴って売掛金の回収が翌月になったことによるものです。棚卸資産は7億36百万円増加しております。負債の部では、支払条件の変更により電子記録債務が4億88百万円減少、賞与の支払により賞与引当金が3億83百万円減少しております。純資産の部では、配当金の支払があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が22億93百万円増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2018年4月27日公表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,734	9,075
受取手形及び売掛金	11,718	12,413
商品及び製品	3,263	3,715
仕掛品	1,159	1,283
原材料及び貯蔵品	872	1,033
その他	449	493
流動資産合計	27,197	28,014
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	18,939	19,161
減価償却累計額	△10,860	△11,238
建物及び構築物 (純額)	8,079	7,922
機械装置及び運搬具	5,797	5,918
減価償却累計額	△4,435	△4,681
機械装置及び運搬具 (純額)	1,362	1,236
工具、器具及び備品	3,573	3,590
減価償却累計額	△3,000	△3,085
工具、器具及び備品 (純額)	573	504
土地	996	996
建設仮勘定	104	193
その他	573	569
減価償却累計額	△298	△274
その他 (純額)	275	295
有形固定資産合計	11,391	11,149
無形固定資産	435	560
投資その他の資産		
その他	6,147	6,373
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	6,140	6,366
固定資産合計	17,968	18,077
資産合計	45,165	46,091

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,434	4,422
電子記録債務	3,030	2,541
未払法人税等	701	720
賞与引当金	748	365
返品調整引当金	6	5
その他	2,629	2,060
流動負債合計	11,550	10,115
固定負債		
資産除去債務	34	35
その他	1,101	1,210
固定負債合計	1,136	1,246
負債合計	12,687	11,361
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,897	6,897
資本剰余金	7,898	7,935
利益剰余金	20,359	22,653
自己株式	△3,279	△3,164
株主資本合計	31,876	34,321
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	155	55
為替換算調整勘定	114	67
退職給付に係る調整累計額	△1	45
その他の包括利益累計額合計	269	169
新株予約権	333	239
純資産合計	32,478	34,729
負債純資産合計	45,165	46,091

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	26,536	27,067
売上原価	15,247	14,908
売上総利益	11,289	12,159
販売費及び一般管理費	7,784	7,880
営業利益	3,504	4,278
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	5	5
受取賃貸料	14	13
業務受託料	12	12
その他	45	51
営業外収益合計	82	85
営業外費用		
支払利息	6	5
為替差損	1	7
減価償却費	6	5
その他	4	5
営業外費用合計	18	24
経常利益	3,568	4,340
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	0	97
特別利益合計	0	98
特別損失		
固定資産除売却損	74	17
特別損失合計	74	17
税金等調整前四半期純利益	3,493	4,422
法人税等	956	1,191
四半期純利益	2,536	3,231
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,536	3,231

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	2,536	3,231
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	△99
為替換算調整勘定	62	△47
退職給付に係る調整額	42	47
その他の包括利益合計	109	△99
四半期包括利益	2,645	3,131
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,645	3,131
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。